

平成26年度 事業報告

平成26年度においては、事業計画に位置づけた事業について実施が見送られたものもあったが、公益目的支出計画に位置付けているサマーセミナー及び施設見学会事業、品質確保のための各種の講習会事業等、協会の定例的活動については、会員の協力を得て円滑に実施することができたとともに、調査研究については、定期的な研究会等の開催により活動を実施し、今後の研究成果が期待されている。

また、膜構造用フィルムに関する告示化については、国土交通省に協力し、建築材料として位置づける告示が公布されたところであり、今後、構造方法等に係る告示の早期の実現が期待される場所である。さらに、膜天井については、相当程度に普及が進んでいる場所である。

一方、国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業としての材料品質性能評価事業や型式適合認定事業は、堅調に推移している場所である。

なお、会員に対する情報提供、社会に対する膜構造等の普及のための情報提供等については、協会ホームページを積極的に活用することにより、充実を図ることに努力した。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）

(1) 「膜構造用フィルム・ETFE」の円滑な導入に必要な膜構造建築物に係る告示について、国土交通省における告示改正作業に協力し、膜構造用フィルムを建築材料として位置づける建設省告示第1446号の改正告示は10月28日に公布された。また、ETFEを簡易な構造の建築物の外壁及び屋根の基準の中に位置づける建設省告示第1443号は、最終的な調整が行なわれている。

引き続き、構造方法に関する技術的基準を定める国土交通省告示第666号等の改正について協力していく。

(2) 天井の安全性確保に寄与する、膜材料の軽量柔軟性を生かした「膜天井」の整備を促進するため、「膜天井」を導入する際の設計方針、発注者・管理者との意思の疎通と確認等をまとめた『膜天井技術指針』を策定するとともに、膜天井の円滑な導入が図られるよう『膜天井事例集』を作成し、ホームページに掲載する等、広報を行った。

(3) 「定期点検者講習」を7月4日に実施し、17名が講習後の考査に臨み、15名を合格者として登録し、更にホームページに掲載した。

(現在登録者数 109名)

- (4) 「膜施工管理技術者講習」を10月2日及び3日に実施し、S種23名及びM種13名が講習後の考査に臨み、S種全員、M種8名を合格者として登録し、更にホームページに掲載した。

(現在登録者数 S種57名、M種18名、R種2名、計77名)

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）

- (1) 設計実務への反映を目指した「膜構造建築物に相応しい風力係数」の提案を行うため、風力係数研究会を設置し調査研究を実施した。平成27年度も引き続き研究を実施する。
- (2) 「膜構造研究論文集2014」を編纂した。今後ホームページ上に掲載し、広く公開する。
- (3) 2013年度膜構造研究論文賞特別賞を、植松 康 氏（東北大学教授）に授与した。
受賞対象：「独立上屋等の膜構造建築物の設計用風荷重に関する一連の研究」
- (4) ETFEの飛火試験等、膜構造の防火に関する基準の改正に寄与する試験の実施に協力した。

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）

- (1) 記念講演会を、5月23日通常総会後に開催した。
『建築士が取り組む 木造と膜屋根の魅力』
講師：三井所 清典 氏 （公社）日本建築士会連合会会長
- (2) 「サマーセミナー・夢空間2014」を、9月9日に開催した。
『地域を活かした我が国の将来像』
講師：藻谷 浩介 氏 （株）日本総合研究所調査部 主席研究員
また、事務局より、「膜天井事例集」を紹介した。
- (3) 膜構造建築物等の普及を図るため、設計者、公共建築担当者等を対象として、（一社）日本建築士事務所協会連合会との共催により、膜構造による魅力ある空間創造「講習会&見学会」を、9月26日に開催した。
講習会講師：河端 昌也氏 横浜国立大学大学院准教授 他
施設見学：東京駅グランルーフ、中央区立中央小学校、高輪子ども中高生プラザ
- (4) 第1種・第2種正会員の若手職員を対象とした、工場見学による研修会、意見交換会を、11月20日・21日に開催した。
- (5) A～C種膜構造建築物及びテント倉庫の施工実績、膜材料の出荷実績に関する『膜構造事業実績』の定期アンケート調査を実施し、会員の事業戦略の参考に供した。
- (6) 協会ホームページの定期的なアップデートやメールマガジンの掲載を行った。
また、『サマーセミナー』の講演資料、『膜構造事業実績』を「会員ページ」に掲載した。

4 性能評価等の行政代行事業等の実施

- (1) 指定性能評価機関として、膜構造用フィルム（ETFE）4件を含む12件の膜材料等について性能評価を実施した。
- (2) 指定認定機関として、43件の膜構造建築物やテント倉庫建築物の型式適合認定を実施した。
- (3) 膜構造建築物に係る技術審査（任意）を1件実施した。

5 その他協会の目的に合致する事業の実施

会員相互、関係団体との交流・親睦を図るため、「新春賀詞交歓会」を1月8日に開催した。

6 会議の開催状況

(1) 総会

平成26年度通常総会を5月23日に開催し、平成25年度事業報告及び決算を承認するとともに、会員規則の改正、2年間の任期満了に伴う役員の改選を行った。

また、平成26年度事業計画及び収支予算、平成25年度公益目的支出計画実施報告書を了承した。

(2) 理事会

① 第1回通常理事会（5月7日）

平成25年度事業報告及び決算、会員規則の改正案、役員の改選候補者、平成25年度公益目的支出計画実施報告書等を審議し、総会に付議する事項を決議した。

② 第2回臨時理事会（5月23日）

会長（代表理事）、副会長、専務理事の選定を行った。

③ 第3回臨時理事会（11月12日）

性能評価委員会規定の改正、入会の可否の決定の審議及び事業実施状況等の報告を行った。

④ 第4回通常理事会（3月20日）

平成27年度の事業計画及び収支予算の審議等を行った。

(3) 企画運営委員会

3回開催し、理事会への付託案件、平成25年度事業報告及び決算、平成25年度公益目的支出計画実施報告書、平成27年度事業計画及び収支予算、また、協会の運営、事業活動における課題等についての討議を行った。

(4) 品質委員会

「維持保全専門委員会」を4回開催し、定期点検報告書21件の審査を行った。

「技術標準専門委員会」を6回開催し、ETFEに係る技術指針類の策定等、ETFEの建築物への応用の際の課題の克服に向けての検討を行った。

(5) 普及情報委員会

2回開催し、「サマーセミナー」、膜構造普及のための「講習会&見学会」などの実施に関する討議を行った。

また、会員が求める情報等、今後の普及情報活動の展開について検討を行った。

(6) 工場登録委員会

2回開催し、膜体加工工場登録制度の見直しに伴う検討及び今期申請の6工場についての審査の総括を行った。それに先立ち、委員による継続申請4工場及び新規申請2工場の現地審査を実施した。

(7) 性能評価委員会

「建築材料品質性能評価委員会」を5回開催し、膜材料等12件についての性能評価を行った。(再掲)

(8) 型式適合認定委員会

11回開催し、43件についての審査を行った。(再掲)

(9) 膜構造技術審査委員会

1回開催し、1件についての審査を行った。(再掲)

7 会員の動向

	平成26年度末	平成25年度末	
第1種正会員	17社	18社	(1会員減)
第2種正会員	18社	18社	
第3種正会員	96名	96名	(1会員減・1会員増)
第4種正会員	6社	6社	
合計	137会員	138会員	(2会員減・1会員増)